



令和7年度指定 高指第127号

織田 定男

生年／昭和44年 指定技術名／漆器・無地塗



かんしつりんかもりばち

乾漆輪花盛鉢

洗朱を施した六弁の輪花形が美しい乾漆の器。和紙と麻布を重ねて成形する技法により、薄く軽量に仕上げられている。呂色仕上げがもたらす深みのある艶が、曲面で構成された生命力あふれる花卉の広がりを引き立て、軽やかな印象と気品をたたえている。獅子頭から現代工芸の作品制作まで幅広く手掛ける作者の確かな漆芸技術を感じられる。

平成14年作

素材・技法／漆・無地塗

寸法／高さ8cm×幅33.5cm×奥行33.5cm

〔表彰・受賞歴〕

平成 7年	日本現代工芸美術展 現代工芸賞
平成18年	日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞
平成27年	日本現代工芸美術展 現代工芸理事長賞
令和 3年	日展 特選
令和 5年	日展 特選

〔経歴〕

平成 2年	漆芸家・横山幸文氏（国立高岡短期大学教授）に師事
平成 7年	家業の漆塗装業に従事
平成24年	伝統工芸士に認定
令和 4年	全国山・鉾・屋台保存連合会技術者会会員
令和 6年	現代工芸美術家協会富山会 副会長
令和 7年	富山県工芸作家連盟 委員長、現在に至る
令和 7年	高岡市伝統工芸産業技術保持者指定